



西播磨

相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・太子町・上郡町・佐用町

西播磨地域ビジョン情報誌

きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

第38号
2019年
3月発行

西播磨地域夢会議開催しました！



西播磨地域夢会議（H31.2.10）

左上：アトラクション（おさきオサテン団）

右上：金澤副知事講評

右下：ワークショップの様子

- 委員長あいさつ 1
- 夢会議開催結果とまとめ 1～2
- 推進チーム紹介 3～6
- 秋の花と緑を愛でる会に参加して 6
- 出る杭大会の紹介 7
- 編集後記 7



発行 西播磨地域ビジョン委員会

委員長あいさつ



西播磨地域ビジョン委員会
委員長 伊藤 一郎

夢会議 大成功！

多くの高校生の参加で、老人から若者までの話し合いができたことに感謝申し上げます。

高校生の将来の夢に、長く社会経験を重ねた人たちが適切なアドバイスができる場を大切にしていきたい。



西播磨地域夢会議

好きですか？あなたのまち

平成30年度西播磨地域夢会議を関西福祉大学にて開催しました！

《開催日時》 平成31年2月10日(日)13:00～16:30

《参加者》 164名

プログラム

【第1部】

オープニング

●開会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 委員長 伊藤 一郎
兵庫県西播磨県民局長 東元 良宏

●アトラクション 獅子舞(上仮屋獅子保存会)

●ワークショップ

コーディネーター 関西福祉大学 准教授 谷川 和昭

- ① 歴史遺産の保存・活用から観光事業への展開
- ② 未来へ向けた人づくり
- ③ 地域の良さ活用

【第2部】

発表・講評

●アトラクション バンド演奏(おさきオサテン団)

●来賓紹介

●各グループ発表

●講評

兵庫県副知事 金澤 和夫

●閉会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 副委員長 浅野 一裕



夢会議まとめ

平成30年度西播磨地域夢会議を2月10日（日）関西福祉大学2号館において開催しました。3連休の中日にも関わらずビジョン委員を始め、地域の方々28名、高校生48名を含む164名の皆さんが参加して頂きました。

第1部は13時より伊藤ビジョン委員長、東元県民局長のご挨拶に続き、アトラクション「上仮屋獅子保存会」による獅子舞を舞って頂き、会場は華やかな雰囲気になりました。そのような中、当委員会の谷川専門委員にお願いし、「ワークショップの進め方」の説明を受けました。

ワークショップの3つのそれぞれテーマにおいて、事前に準備している共感マップシートに人間の五感を活用した ①未来の自分が何を見ているか ②未来の自分が何を聴いているか ③未来の自分が何を考えているか ④未来の自分が何を話しているか ⑤未来の自分が何を失ったか ⑥未来の自分が何を得たか の6つの未来を付箋に書いて、各人が未来の自分の体験発表する一連の流れを学びました。

その後、会場を移し、メインテーマ「好きですか？あなたのまち」ワークショップのテーマ ①歴史遺産の保存・活用から観光事業への展開 ②未来へ向けた人づくり ③地域の良さ活用 の3つを13グループに分かれて意見交換を行いました。今回はこれまでも増して多数の高校生の参加を得ることができました。若さあふれる熱気をおびた議論が各グループにおいても行なわれ、その中において年配者から若者への助言、若者は日常生活から生まれる希望・夢・ちょっぴり不安な素直な気持ちを話し、多世代に亘る意見交換の場となりました。

第2部では15時より、アトラクション「おさきオサテン団」による「出る杭大会」と「北前船」をテーマにしたバンド演奏が行われました。続いて、来賓としてご臨席頂いた西播磨地域の国会議員、県議会議員、各市町の代表者のご紹介をさせて頂いた後、谷川専門委員の進行のもと第1部で行った「ワークショップ」の意見発表を各グループ毎に発表して頂きました。発表は高校生を中心に行われ「西播磨の良さをもっと発信しなければ」「地域の歴史を学ぶ」「人の気持ちに寄り添ったひとづくり」などの意見発表がありました。意見発表後、平松専門委員、山本専門委員、田端専門委員、熊谷専門委員から「意見発表されたことを踏まえ可能な限り実践に結びつけて頂ければ」などのアドバイスを頂きました。

最後に、金澤副知事から講評を頂きました。そして、閉会の挨拶を浅野ビジョン副委員長が行い閉会しました。

今回は、昨年よりも多くの方々に出席して頂き、いろいろな角度からのご意見が伺えて大変有意義な「夢会議」となりました。明日からは、出席を頂いた皆様の地域に今日の意見を持ち帰り反映して頂き、「夢・希望・元気」あふれる、ふるさと西播磨になるよう尽力して頂くことをお願いいたします。

なお、今回の「西播磨地域夢会議」の内容は、即時 Facebook にて動画配信しました。

副委員長 門田 守弘



上仮屋獅子保存会



←こちらから
Facebook
へいけます



ワークショップの様子

健やか子ども応援チーム



私たち健やか子ども応援チームでは、論語と略式の茶道を伝え、時間のある時は、子どもたちと共に昔遊びなどを楽しんでいます。

論語は、正座、黙想をして心を落ち着かせて素読を始めます。初め読めなかった漢字も繰り返すことで見事に覚えてしまいます。また、論語の説く家の大切さや、「今ある君たちの存在は、長い先の先祖からの願いがあって生かされていること」、「命の大切さ、友達を思いやる心」、「人の痛みを判る君たちに育ってほしい」など、繰り返し伝えています。

茶道においても、感謝の心を持って一礼をし、部屋に入ります。そしてお茶の心を伝えてひとつひとつの動作にも相手を思う心と気配りの大切さ、日本の文化を伝えています。

先日、PTAの方々を招いて、学んだお茶で迎えさせて頂きました。とても感心されていました。最後には西播磨ビジョン委員会より、論語は「修了証書」、書道は「頑張ったで賞」が授与されました。大変嬉しそうでした。園長先生はじめ、担任の先生方と共に今年一年を振り返りながら、成長した子どもたちを見つめ、喜びと感謝でいっぱいです。

広報部員 井上 鈴子



出る杭応援隊

西播磨地域ビジョン委員会のシンボルプロジェクトである「出る杭大会」の普及啓発ならびに、それぞれの地域で活動をしている「出る杭」の発掘を行っています。地域を良くしようと頑張っている個人やグループを「出る杭」に見立て、そんな「出る杭」たちの発表の場であり、またそれぞれが情報交換できる交流の場となるように努めています。

毎月行われている「出る杭大会」の運営母体である西播磨元気プロジェクトの全体会に参加し、「出る杭大会」に関わるすべての人に歓んでもらえるよう運営や誘客アイデアなど活発に意見交換を行い、大会後は「出る杭交流会」にも参加し、出る杭大賞など賞を獲得した団体との交流や意見交換を行っています。他にも「出る杭大会」に参加を呼び掛けるため、地域で活動している団体などへ出向きPR活動も行っています。



前回出る杭大会の様子

今年度はあらためて、「出る杭大会とは何か、出る杭応援隊の役割は何か」と再確認するための議論を行い、西播磨地域ビジョン委員や出る杭大会に関わる人たちが共通認識を持てるよう取り組んでいます。

今年も4月29日に播磨科学公園都市光都プラザ前芝生広場で開催します「出る杭大会」にぜひお越しください。元気な西播磨を体験できますよ！

チームリーダー 堀 卓史

安全第一チーム



私たち、安全第一チームは、防災・減災活動の推進を行っており、「高校生が考える防災・減災」をテーマに第8期「生活安全推進チーム」が2017年度に実施された「西播磨地域高校生防災サミット」の2回目を2019年11月～12月頃に開催予定です。

今回の「西播磨地域高校生防災サミット」では、西播磨地域の各校での防災・減災活動の発表に加え、環境防災科を設置され、防災教育に力を入れられている兵庫県立舞子高等学校、防災・支援活動が行われている神戸市立神港橋高等学校の高校生をゲストに迎え、活動内容などの発表やワークショップの実施について依頼し、調整中です。

また、発表・講演以外にもパッククッキング体験などのワークショップ、防災・減災に関するパネル展示などの実施に向け準備しており、今後社会に出ていく若者と共に防災・減災の学びを深め、防災・減災活動の活性化を図りたいと考えております。

広報部員 小河 摩佐子



西播磨自然探検隊チーム

西播磨の自然を知り、未来へ活かすことを目標とする私たちのチームは探検会を重ねています。11月には相生の山で害獣として退治されるシカやイノシシの状況を学び、1月には太子町福井大池にて水辺へ訪れる野鳥の観察を行いました。

罾猟を主に行われている相生市猟友会の方の話では、「相生市では一時害獣被害が増えたものの、市と猟友会の協力で近年は減少しつつある」とのことですが、狩猟後継者がいないため更なる対策が必要と伺いました。捕獲した獣は焼却処分が原則ですが、ジビエ料理に使うなどの利用を進めることも考えねばなりません。

福井大池では日本野鳥の会メンバーより説明を受けました。この西播磨地域ではどこでも50～60種の野鳥を見ることができるとは、知識がないために見落としていることが多いとのこと。

当日の見学会でもモズやヒヨドリ、ツグミなどの小鳥、そしてアオサギやマガモ、コガモ、カワウなどの水鳥10種以上の野鳥を観察することができました。

2年目は更なる探検を行い、その自然を守り育てる術を追求していきたいと思っております。

広報部員 野原 建広



環境再発見チーム

近年、地球温暖化の影響として大雨による洪水、がけ崩れの発生、暴風による竜巻の発生などがよく聞かれます。

その中で、地球温暖化を防ぐには化石燃料のエネルギーから再生可能エネルギーへの転換が求められています。太陽光発電は次世代エネルギーとして注目されています。

そこで私たちのチームでは、近年設置の進んでいる太陽光発電について、環境の点から見るために、西播磨地域の太陽光発電システム関連企業を訪問し、課題を聞きました。

太陽光パネルは、寿命が20年から30年と言われています。太陽光発電設備には人体に有害なものが含まれているものもあり、簡単に廃棄できないそうです。

西播磨地域の各市町にもアンケート調査を行い、取り組み状況を調べていきます。

これらの問題点を発見し、いい方向に進められたらと思っています。 チームリーダー 村上 英雄

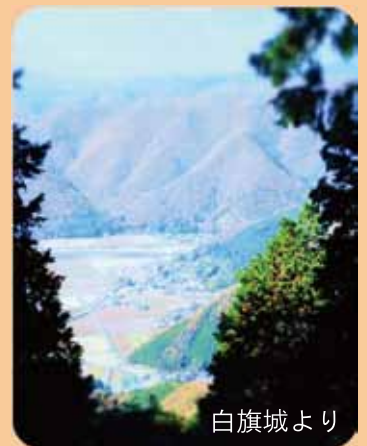


史跡と食を巡るチーム



城山城登山道

史跡と食を巡るチームでは、山城を訪ねるチーム活動を継続しており、前回の報告以降もたつの市、相生市、上郡町の山城に登ってきました。たつの市の「城山城」は道がとても険しく上級者向けの山城でしたが、途中の岩場からの景色は壮観でした。相生市の「感状山城」はルートが分かりやすく、遺構を見つけやすい山城で、挑戦しやすいと思います。上郡町の「白旗城」もなかなか険しい道のりでしたが、他の二つの山城と違い苔の生えた岩場などを登っていく登山ルートには白旗城の特色が現れているように感じました。



白旗城より



感状山城

私たちが実際に登ってみた感想や登山ガイドさんから学んだそれぞれの山城の情報について、どうやって一つの情報誌としてまとめあげていくか、そういった点も今後のチーム活動での検討事項となっていきます。山城にはそれぞれの特徴があり、登った後の達成感も大きかったです。ポイントをまとめつつ、西播磨の歴史情報なども載せながら、多くの方に興味を持ってもらえる内容としたいと考えております。

広報部員 森岡 典子

西播磨交流大作戦チーム

西播磨地域には、律令国家形成の過程で古くから東西を結ぶ三本の街道が整備されました。それらにより、人・物・文化風俗などの交流が生まれました。今回2月に一番北にある「① 山陽と山陰を結ぶ美作道・因幡道の結節点（佐用町長尾地域）」を訪問しました。歴史的な背景からくる地域情報と地元の方からトピックスを聞き交流を図り、古代から近世まで交通の要所であったことなど聞くことができました。

特に、この地域には当時としては珍しいと思われる「条理（じょうり：土地区画）」が整備され、それに沿って道が作られた遺構が確認されています。播磨国府と美作国府を結ぶ古代美作道と鳥取と播磨の入口を結ぶ古代因幡道の結節点であるこの地域を中心に官衛跡・寺院跡・生産遺構などが、街道に沿って見つかっています。

今後は「② 都と九州太宰府を結ぶ古代山陽道の駅家（うまや）2か所」と「③ 海路を結ぶ近世山陽道（あいあい宿）」他を予定しております。

チームリーダー 生駒 憲二



秋の花と緑を愛でる会に参加して

平成30年10月16日快晴、我々西播磨ビジョン委員会のメンバー42名は、「秋の花と緑を愛でる会」に参加するために、中秋の播磨路を、淡路夢舞台・明石海峡公園へ急いだ。県下各地区のビジョン委員約500名が一同に集い、コスモス、ダリア、サルビアなど一面に広がる花々を堪能した。

海の青、山の緑、一面に広がる色鮮やかな花々、大いなる自然のエネルギーを身体一杯に浴びて、心をリフレッシュ。「(元気を) ありがとうございます。感謝します。」と花に声を掛けながら歩いた。

人間にとっての「やさしい言葉」は植物も心地よいと感じるだろう。逆に「嫌な言葉」をかけられると弱っていき、「無視される」と早く枯れてしまうようだ。人間も同じですね。

明るくポジティブな思いを抱いて、今まで「当たり前」だと思っていたことに感謝することができれば、日常生活はもっと幸せに満ちているはず。ありがとうございます。感謝します。

副委員長 浅野 一裕



第18回

出る杭大会のお知らせ

2019年4月29日（月・祝）

10:00~15:00（小雨決行）

4月29日（昭和の日）に播磨科学公園都市芝生広場で開催される「出る杭大会」は18回目を迎えます。

「出る杭を地域で応援しよう！打たれてもへこたれない杭を育てよう！」という前向きな気持ちを込めて名付けられた大会で地域を元気にしようと取り組んでいる個人や団体に活動発表の場を設け、活動への理解を促し、交流を深めることを願い開催しています。

大学の先生をはじめとする審査員が活動内容を評価し、「出る杭大賞」「夢づくり賞」など、賞状・副賞を贈呈しています。

第18回大会は新たにCSR（地域貢献活動）を行っている企業を対象とした枠を設け、それぞれの地域にある課題への取り組みや隠れた資源の発掘や活用方法など情報交換ができるコミュニケーションの場となればと考えています。参加団体も西播磨地域に限られず、他地域からの参加も増え広がりを見せており、大変注目を集めていると実感しています。

若い世代のエネルギーを活用すべく、ステージ発表の司会を県民局管内の高校放送部に依頼し、第18回大会は兵庫県立山崎高等学校放送部が引き受けてくださいました。またポスターの原画を広く学校に募集を行った結果、パワーあふれる力強い作品が選ばれ、出る杭大会にふさわしいポスターができ上がりました。

会場に足を運んでいただくにはどうすべきか、来ていただいた方にどうやって楽しんでもらうかなど真剣に話し合い、平成最後にふさわしい大会となるよう準備を進めております。

どうぞ皆様のお越しをお待ちしています。

出る杭応援隊リーダー 堀 卓史



ホームページと Facebook で活動を更新しています。ぜひご覧ください！



兵庫県ホームページ（西播磨地域ビジョン委員会の活動状況）
URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk02/vision/iinkai.html>



Facebook ホームページ（ネット de 応援し隊）
URL : <https://www.facebook.com/nettodeouensitai/>

編 集 後 記

今号第38号は「好きですか？あなたのまち」をテーマに開催された西播磨地域夢会議について、大勢の高校生の参加を頂き「共感マップ」という新しい手法を取り入れたことなど、盛り沢山に掲載しております。

第18回出る杭大会についても、地域づくりの団体の皆様、ビジョン委員の皆様のご協力のもと開催できますようご案内させて頂いております。きらきら輝く西播磨の情報満載です。ぜひ、ご覧ください。

副委員長 金井 貴子

連絡先：西播磨地域ビジョン委員会事務局（西播磨県民局県民活動支援課内）
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25
TEL：0791-58-2128 FAX：0791-58-0523

